宇佐

豊後高田の真西には、2005年に安心院と院内の町が合併してできた宇佐市があります。豊後高田への旅行者は、豊後高田市内から車かバスで10分ほどの、豊後高田に最も近い駅であるJR宇佐駅を通じて宇佐を旅することができます。豊後高田、杵築、日出、国東、そして宇佐は、山岳信仰・神道・仏教を組み合わせた地元の信仰、六郷満山の影響を受けた文化を共有しています。

有名な宇佐神宮は宇佐市の主要名所です。奈良時代（710-794）に設立されたこの神宮は、戦士の神様である八幡神を祀る分社が今では日本中にあります。神宮の本殿、および仏教儀式で用いられる孔雀のレリーフが入った銅鑼である孔雀文磬は日本の国宝に指定されています。この銅鑼は他の何百もの文化財とともに神宮の宝物館に展示されています。